

要 望 書

東武野田線(野田市)連続立体交差事業の
計画的かつ円滑な事業実施のため、関連
事業を含めた国の道路関係予算の確保

令和元年 9 月

千葉県 野田市

野田市は、千葉県の北西部に位置し、江戸川や利根川を挟んで埼玉県及び茨城県と接し、市域を東武野田線が南北に縦貫しているため、市街地は分断され、両県の発展に伴う交通量の増加により、主要地方道つくば野田線及び主要地方道野田牛久線と交差する愛宕駅や野田市駅付近は、慢性的な交通渋滞が生じ、市域発展の大きな障害となっております。

こうしたことから、東武野田線連続立体交差事業により、愛宕駅、野田市駅の2駅を含む延長約2.9キロメートル区間の鉄道を高架化し、11箇所の踏切除却と交差する幹線道路の整備により、交通渋滞や踏切事故の解消、歩行者等の安全確保を図り、鉄道により分断された市街地の一体化などのまちづくりを進めております。

また、昨年度は、予算について多大なるご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

事業の進捗といたしましては、全区間において高架橋工事を本格的に進めるとともに、新しい駅舎の建築工事にも着手する予定でございます。

野田市は、本事業に合併特例債を活用し、令和5年度の事業完了を目標に全力で取り組んでおり、バリアフリー法による令和2年度までの移動円滑化基準への適合整備の方針に基づき、事業促進を図っております。

なお、関連事業につきましては、連続立体交差事業とともに駅前広場や駅前線、鉄道と交差する道路の整備など、高架切替えに合わせ、事業効果を発現させるため、重点事業に位置付け、街路事業や土地区画整理事業等を積極的に推進しているところです。

こうした状況を踏まえ、国におかれましては、当連続立体交差事業及び関連事業を着実に進めるため、次の事項について特段の御配慮を賜りたく要望いたします。

- 一 東武野田線(野田市)連続立体交差事業の計画的かつ円滑な事業実施のため、関連事業を含めた国の道路関係予算の確保

令和元年9月20日

野田市長 鈴木 有